

## 第1学年 生活科学習指導案

令和元年11月29日（金）3校時

### 1 単元名 みつけたあきで つくろう あそぼう

### 2 単元の目標

- 秋の自然物を利用して遊んだり、遊びに使うものを作ったりすることの面白さや、自然の不思議さ、秋の自然を使ってみんなで遊ぶことの楽しさに気付いている。 （知識及び技能の基礎）
- 秋の自然物や身の回りにあるものを利用して、遊びに使うものを工夫して作ったり、みんなが楽しく遊べるように、約束やルールを考えたりしながら、みんなで楽しく遊んでいる。 （思考力・判断力・表現力の基礎）
- 身近な自然物を使って、遊びに使うものをつくったり、遊んだりすることに関心を持ち、みんなで楽しく遊ぼうとしている。 （主体的に学習に取り組む態度）

### 3 図書館活用教育で身に付けたい力

課題設定（作りたいものを決める）

情報収集（資料から必要な情報を見つける、友達に聞く）

### 4 基盤（児童観省略）

- 本単元「みつけたあきで つくろう あそぼう」は、学習指導内容（6）「身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりするなどして遊ぶ活動を通して、遊びや遊びに使うものを工夫して作ることができ、その面白さや自然の不思議さに気付くとともに、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとする。」を受けて設定したものである。

前単元「たのしいあき いっぱい」では、学校や少年自然の家で秋の自然と関わり、それらを利用して遊ぶことを通して、秋の自然の特徴や夏との違い、変化に気付いた。この学習や経験を生かし、本単元では、秋の自然物や身の回りのものを使って遊ぶためのものを作り、それらで遊ぶことを通して、遊びに使うものを作ったりすることの面白さや、自然の不思議さ、秋の自然を使ってみんなで遊ぶことの楽しさに気付かせたい。また、児童が思いや願いを持ち、友達と関わり合いながら体験活動や表現を繰り返すことで、気づきの質が高まると考える。

このような学びを通して、日常生活の中でも、子ども達の遊びや自然への興味関心が豊かになり、工夫して自然で遊ぶ姿が見られるようになるのではないかと考え、本単元を設定した。

- 本単元の指導にあたっては、単元の目標を達成するために、主体的・対話的で深い学びの姿を求めて、以下のような指導の工夫を考えた。

#### ・ 単元構成の工夫（図画工作科・音楽科との関連）

本単元では、図画工作科と音楽科「いろいろな おとを たのしもう」の学習と関連させて学習する。図画工作科では、秋の自然物や木などを使って工作をする。自然物の形や色を生かして自分の作りたいものを表現する際に、秋の自然物をよく見たり触ったりしながら、その特徴や面白さに気づかせたい。

音楽科「いろいろな おとを たのしもう」では、本単元で作った楽器（どんぐりマラカスな

ど)を使って、曲に合わせて楽器を鳴らし、自分で作った楽器を使う喜びや自然物が奏でる音の面白さを味わい、自然物を使った楽器作りへの達成感につなげたい。

#### ・ 学校図書館の活用の工夫

秋の自然物を使って作りたいものを決めたり、材料や作り方を考えたりする際に、図書館の本で調べる活動を設定する。授業の中だけでは十分に目を通しにくいので、いつでも自由に本を見られるように本を教室内に置き、秋の自然物やおもちゃなどについての情報を収集するのに役立たせたい。

また、学校司書と適時連携をし、児童の実態に合わせた読み取りやすい資料の選択・提示、ブックリストの作成、情報カードの書き方や資料の読み取りについての支援をお願いします。

また、本単元で使う情報カードは、1年生でも簡単に必要な情報を記録できるように工夫する。あとで見返したときに、大事なことを確認したり、作りたいものを決めるときの手立てにしたりできるように指導する。

#### ・ 協働の場の工夫

同じようなものを作る者同士でグループを作り、遊んだり、比べたりしながら活動させたい。友達と遊ぶ中で「〇〇くんのこまの方がよく回るね。」「このどんぐりを使ったほうがいいのかもしれないよ。」「この本に載っているよ。」など、アドバイスをしあったり、新たな気づきが生まれたりすると考える。それを繰り返しながら、作っているものを改良したり、より楽しくなる遊び方を考えさせたりしたい。

グループ内で問題を解決できないときには、必要に応じて「お助けタイム」を設定し、学級全体で友達が困っていることについて考える。一人一人の思いや願いが実現できるように、学級みんなまで協働して活動を進めていきたい。

#### ・ 板書の工夫

本時では、児童に課題意識を明確にさせたり、それぞれのグループの進行状況、成果、困っていることを把握させたりするために、板書の工夫を考えた。黒板に表を書いた模造紙を貼り、そこに各グループの課題（改良したいところ）や成果を、カードに書いて貼らせていく。模造紙に貼っていくことで、次時以降も継続して使うことができ、活動の流れや進行状況の確認、児童に達成感を感じさせることもできるだろう。

課題については、前時に作ったもので遊んだ後にカードに書かせ、本時の導入時に学級全体で共有する。また、この課題にある児童の言葉をもとに本時のめあてを考え、児童の思いや願いをその後の活動につなげる。

成果については、本時のグループでの活動の際に、課題を解決できたグループから改良した点を「パワーアップカード」に記入し、表に貼っていく。児童の達成感にもつながるだけでなく、「パワーアップカード」に書いてあることを手がかりに、他の児童が自分の作っているものを改良していくことも考えられる。また、「パワーアップカード」が貼れていないグループは、改良が上手くいかず困っているという状況である。学級全体での交流の時に、「パワーアップカード」がないグループの困っていることを共有し、みんなで協働しながら課題を解決させたい。

#### ・ 振り返りの場の工夫

単元を通して一人一人の思いや願いに沿って、遊ぶためのものを作ったり遊び方を考えたりした後、適時言葉にして振り返る時間を設定する。その中で児童の気づきを認め、学びへとつなげて

いくことで、質の高い気づきへと導きたい。

5 単元計画（全10時間・本時5/10）

学習過程	○めあて ・主な学習活動	☆評価規準（観点）【方法】	図書館活用教育	
第一次 おもちゃをつくらう（4）	① （活動・思い願い）	○みつけた秋で作りたいものを決めよう。 ・自分たちの集めた自然物で遊ぶ。 ・本で調べたり、友達に聞いたりして、作りたいものを情報カードに記す。 ・友達と交流しながら、作りたいものを決める。	☆自分たちの集めた自然物に関心をもち、自分の作りたいものを決めることができる。（思・判・表）【行動観察・情報カード・発言】	★課題設定力 ★情報収集力 ・本、実物 ・情報カード
	② （活動・考える）	○作りたいものの設計図をかこう。 ・完成図、作り方、材料、道具などを本で調べたり、友達と考えたりしながら設計図にかく。	☆必要な情報を集めながら、自分の作りたいものの設計図をかく。（思・判・表）【行動観察・設計図】	★情報収集力 （資料から必要な情報を見つけて出す。）
	③④ （活動・考える）	○自分の決めたものを作ろう。 ・試したり、見立てたりして、工夫して作る。 ・同じようなものを作っているチームの友達と遊んだり比べたりして交流する。	☆自分の作っているものに合う葉や木の実を見つけようと、いろいろな自然物で試し、選びながら、制作している。（思・判・表）【行動観察】 ☆友達と遊んだり比べたりしながら、おもちゃを作ろうとしている。	
第二次 パワーアップさせよう（2）	⑤（本時） ⑥（活動・考える・表現）	○作ったものをパワーアップさせよう。 ・もっと楽しく遊べるように、どう改良するか考える。 ・友達が作ったものと比べたり、いろいろな材料や作り方を試したりしながら改良する。 ・チームの友達と遊びながら交流する。	☆友達が作ったものと比べたり、いろいろな材料や作り方を試したりしながら、より楽しく遊べるように工夫することができる。（思・判・表）【行動観察・作品】 ☆友達と交流しながら、作っているものがより楽しくなるように工夫しようとしている。（学び）	★課題設定力
第三次 みんなであそぼう（4）	⑦⑧ （考える）	○遊び方を工夫しよう。 ・チームの友達と交流にしながら、もっと楽しく遊べるように、遊び方やルールを工夫する。	☆作ったもので遊びながら、もっと楽しくなるように遊び方やルールを工夫する。（思・判・表）【発言・行動観察】	★情報の整理

⑨ ⑩ (活動・体験・まとめ)	<p>○作ったものでみんなであそび、気づいたことや思ったことを伝え合おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達といっしょにつくったものであそぶ。</li> <li>・振り返りカードに書く</li> <li>・気づいたことや思ったことを伝え合う。</li> </ul>	<p>☆遊び方やルールを工夫すると楽しく遊べることや友達が作ったものには、自分とはちがうよさがあることに気付いている。(知・技)【発言・行動観察・振り返りカード】</p>	
-----------------------	--	---	--

6 本時の学習（5／10）

(1) 目標

友達が作ったものと比べたり、いろいろな材料や作り方を試したりしながら、より楽しく遊べるように工夫する。 (思考・判断・表現)

(2) 展開

	学習活動 ・ 予想される児童の反応	・ 教師の支援 ☆評価規準
5 分	<p>1 前時に遊んだときに思ったことを全体で共有する。</p> <p>&lt;おもちゃ&gt; <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">どんぐりごま</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">パチンコ</span>  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">コリントゲーム</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">木のフォークで栗運び</span>  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">はっぱ竹とんぼ</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">はっぱのパズル</span>  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">どっちかなどんぐり</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">きのみころころ</span>  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">どんぐり迷路</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・もっと長くまわるようにしたい。</li> <li>・もっと遠くにとばしたい。</li> <li>・もっとむずかしくしたい。</li> </ul> <p>&lt;楽器&gt; <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">どんぐりマラカス</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・もっといろいろな音を出したい。</li> </ul> <p>&lt;自然物を生かした遊び&gt; <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">くるくるはっぱ</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・もっとひらひらさせたい。</li> </ul> <p>&lt;飾り&gt; <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">落ち葉の魚</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">どんぐり人形</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・もっといろいろな魚をつくりたい。</li> <li>・もっと人形を増やしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時に遊んだときの思いを全体で共有することで、遊びをもっと楽しくしたいという気持ちを引き出し、本時の活動につなげる。</li> <li>・改良したいことを「もっと〇〇にしたい」という言葉でカードに書き、黒板に掲示することで、本時の課題を明確にする。</li> </ul>
15 分	<p>2 めあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>もっと〇〇になるように、つくっているものをパワーアップさせよう。</p> </div> <p>3 グループの友達と交流したり、いろいろな材料や作り方を試したりしながら改良する。</p> <p>&lt;おもちゃ&gt;</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・めあてに児童の思いや発言を入れることで、児童が主体的に取り組めるようにする。</li> <li>・教室の中に、材料コーナー（秋の自然物や身の回りにあるもの）、本コーナー（おもちゃの作り方が載っている本）をつくり、自由に遊んだ</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・棒の長さを変えてみよう。</li> <li>・まん丸どんぐりと細長どんぐりは、どっちの方が長く回るのかな。</li> <li>・うまく回らないな。</li> </ul> <p>&lt;楽器&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中に入れる木の実を変えたら、いろんな音のマラカスができたよ。</li> </ul> <p>&lt;自然物を生かした遊び&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大きいどんぐりが一番強いね。</li> <li>・葉っぱが多いほうが楽しいかもしれないな。もっと葉っぱをとってこよう。</li> </ul> <p>&lt;飾り&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろんな色の葉っぱを使ったほうが、たくさん種類の魚ができそう。</li> <li>・どんぐりやくり、まつぼっくりを組み合わせたら、おもしろい人形ができたよ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>り調べたりしながら改良できるようにする。</li> <li>・友達とアドバイスしあったり、比べたりしながら改良するために、同じようなものを作っている児童でグループを作る。</li> <li>・資料に載っているたくさん情報の中から必要なことを見つけ出せるように、学校司書にも読み取りの支援をしてもらうことで、個への対応を図る。</li> <li>・それぞれの進行状況を確認したり、他のグループの改良の手立てにしたりできるように、改良できたら「パワーアップカード」を記入し、黒板に掲示させる。</li> </ul>
10分	<p>4 改良できたこと（成果）と困っていることを全体で共有し、困っていることは学級全体で考え、アドバイスする。</p> <p>○どんぐりごまが上手く回らなくて困っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・棒はまっすぐさしたほうがいいよ。</li> </ul> <p>○どんぐりがあまり転がりません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・わたしは、小さいビー玉どんぐりを使ったら、よく転がったよ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まだ「パワーアップカード」が貼れていないグループの困っていることを全体で共有することで、学級全体で協働しながら課題を解決させる。</li> </ul>
10分	<p>5 学級全体での交流をもとに、もう一度グループで改良する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さっきのアドバイスを試してみよう。</li> <li>・ぼくも葉っぱを使っているから、教えるよ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改良が終わった児童については、まだ改良中の友達にアドバイスしたり、一緒に考えたりするように促すことで、友達と交流しながら改良できるようにする。</li> </ul> <p>☆友達が作ったものと比べたり、いろいろな材料や作り方を試したりしながら、より楽しく遊べるように工夫することができる。（思・判・表）</p> <p><b>【行動観察・作品】</b></p>
5分	<p>6 今日の学習を振り返り、思ったり考えたりしたことを振り返りカードに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どんぐりごまの棒をまっすぐさしたらよく回るようになったよ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時でうまく改良できたところ、もっと改良したいこと、困っていることなどを振り返りカードに書き、伝え合うことで、次時への意欲につなげる。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・どうすればもっとこまが回るか、〇〇くんにおしえてもらったよ。</li> <li>・もっと魚を作りたいから、また葉っぱをとてこよう。</li> </ul>	
--	--

(3) 評価規準

十分満足とされる児童の姿	おおむね満足とされる児童の姿	支援を要する児童への支援
<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と交流したり、資料で調べたりしながら、より楽しく遊べるように工夫することができる。</li> <li>・友達に気付いたことや分かったことを伝え、友達の遊びもより楽しくなるように関わり合っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と交流したり、資料で調べたりしながら、より楽しく遊べるように工夫することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達からアドバイスをもらうように促す。</li> <li>・一緒に資料を探したり、材料を考えたりする。</li> <li>・思いや願いを聞き出す。</li> </ul>

(4) 研究の視点

- 友達との交流（グループの編成）や板書、支援を要する児童（改良できない児童、どう改良したらいいのかわからない児童）への教師の声かけは、児童が主体的・対話的に作ったものを改良するのに効果的であったか。

(5) 求める児童の姿

主体的な姿	対話的な姿	深い学びの姿
<ul style="list-style-type: none"> <li>・進んでいるいろいろな材料や作り方を試す。</li> <li>・進んで資料を読もうとする。</li> <li>・もっと〇〇したいという思いを持つ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と関わり合いながら遊ぶ。</li> <li>・友達と関わり合いながら改良する。(比べる、アドバイスをする、アドバイスを聞く)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・秋の自然物を使ったおもちゃや楽器、かざりのおもしろさに気付く。</li> <li>・改良の成果（〇〇したら～になった）に気付く。</li> </ul>